

SHANNON LLC | SERVER MONITORING

サーバーリソース監視

サービス資料

サーバーの異変を、数字で先に把握する。CPU・メモリ・ディスク・通信状況を継続的に監視。
設定から運用までシャノンが対応します。



「気づいたときには止まっていた」を、数字の監視で防ぎます

こんなお悩み、ありませんか？ リソースの異変は、止まる前に必ず数字に表れます。



利用者の声で初めて気づく

サーバーが高負荷になっていたことに、利用者の声で初めて気づいた。気づいたときには応答が遅くなり、影響が出た後だった。



ディスク枯渇で突然停止

ディスクの空きが尽きて、ある日突然サービスが止まった。空き容量は徐々に減っていたのに、誰も気づけなかった。



監視まで手が回らない

監視を入れたいが、ツールの選定・設定・運用まで手が回らない。導入しても運用が続かず、形骸化してしまう。



英語画面が定着しない

海外製ツールの英語画面が、社内に定着しない。導入した担当者しか見ておらず、その人が不在だと状況が分からない。



状況を数字で答えられない

「サーバーは大丈夫ですか？」と聞かれても、状況を数字で答えられない。感覚ではなく、実測値で答える材料がない。



監視対象を選ばない

クラウド・レンタルサーバー・自社サーバーを問わず、Linux / Windows サーバーに対応。リモートで運用します。

負荷の上昇もディスクの逼迫も、数字を見ていれば事前につかめます。次ページから、シャノンが代行する監視の中身をご説明します。

リソース監視から通知・レポートまで、設定と運用を代行します

サーバーリソース監視サービスの4つの柱。「止まる前に把握できる」状態をつくります。



サーバーリソースの監視

CPU・メモリ・ディスク・通信状況を継続的に観測。負荷の上昇やディスクの逼迫を、**サービスが止まる前に把握**できる状態にします。リソースの異変は、止まる前に必ず数字に表れます。

向いているケース：高負荷になっていたことに、利用者の声で初めて気づいたことがある。



異常検知時の即時通知

あらかじめ決めた閾値を超えたら、メール・Slackへ即座に通知。誰に・どの経路で届けるかまで設計するので、通知が放置されません。夜間・休日も、検知と通知の配信は自動で止まりません。

向いているケース：ディスクの空きが尽きて、ある日突然サービスが止まった経験がある。



日本語ダッシュボード

現在のサーバー状況を**日本語のダッシュボード**で確認。PC・スマホの両方に対応し、外出先からでも一目で現在の状況をつかめます。閲覧ユーザーはプランに応じて5名まで／無制限に広げられます。

向いているケース：海外製ツールの英語画面が、社内に定着しない。



月次稼働レポート

毎月の稼働状況をレポートにまとめてお届け。リソースの傾向を数字で残せるので、社内・お客様への月次報告資料にそのまま使えます。プランなら長期データ保持13ヶ月で、年単位の傾向比較にも使えます。

向いているケース：「サーバーは大丈夫？」と聞かれて、数字で答えられない。

※ 閾値＝「CPU 使用率 80% 超」など、通知を出す基準値。サーバーの役割に合わせてシャノンが設計・チューニングします。

監視エージェントの導入から閾値の設計、通知ルートの整備まで、リモートでシャノンが対応します。お客様側での画面設定作業は不要です。

サービスが止まる前に、数字の異変をつかんで知らせます

観測 → 検知 → 通知 → 対応の流れを、担当ごとに整理しました。お客様の作業は「確認して判断する」だけです。



4項目

CPU・メモリ・ディスク・通信
サーバーの基礎体力をまとめて観測

24時間

アラートは自動で配信
夜間・休日にも検知と通知は止まらない

13ヶ月

長期データ保持（プロプラン）
年単位の傾向比較・報告に使える

※ 障害発生時の復旧対応・OS やミドルウェアの保守は本サービスには含まれません（対応範囲は後述）。

サポート：アラート通知は 24 時間、自動で配信します。お問い合わせ対応は平日 10:00～18:00、メール・Slack にて。応答目安は営業時間内 2 営業日以内です。

1. 数字の異変を継続観測でつかむ

CPU・メモリ・ディスク・通信を継続観測し、**閾値の超過**を検知します。リソースの異変は、止まる前に必ず数字に表れます。

2. アラートは24時間・自動で配信

夜間・休日にも検知と通知は止まりません。**閾値チューニング**（プロ）で通知の精度を高め、放置されない状態を保ちます。

3. 日本語ダッシュボードで確認・判断

PC・スマホの日本語ダッシュボードで状況を確認して対応判断。月次稼働レポートで、社内・顧客へ数字で報告できます。

1台あたりの月額制

ベーシック・スタンダード・プロの3プランです

監視したい範囲に合わせてお選びいただけます。まずベーシックで始めて、後からの変更も可能です。

	STANDARD	
		
ベーシック	スタンダード	プロ
CPU・メモリ・ディスク監視	ベーシックの全機能	スタンダードの全機能
メール通知	プロセス監視	カスタム監視項目（3項目まで）
日本語ダッシュボード	Slack 通知・重要度別通知	異常検知・アラート閾値チューニング
後からのプラン変更に対応	月次稼働レポート	長期データ保持 13 ヶ月
向いているケース：まず全台を見える化したいとき。基礎リソースの監視から始めて、重要なサーバーだけ後から上位プランに上げられます。	閲覧ユーザー 5 名まで	閲覧ユーザー無制限
	向いているケース：重要なサーバーの状況を、月次レポートで社内・お客様に数字で報告したいとき。	向いているケース：閾値チューニングや、年単位の傾向比較・報告まで求めるとき。

※ 料金は要件確定後に書面でご提示します。既存監視ツールからの移行支援、監視対象の追加・設定変更もオプションで承ります。

「まず全台をベーシックで見える化し、重要なサーバーだけスタンダード／プロに上げる」といった組み合わせのご相談も可能です。

「サーバーリソースの監視・通知」に絞り、範囲外は関連サービスで補完します

はじめに範囲を明確にお伝えします。次の内容は本サービスに含みません。

本サービスに含まないこと

× Webサイトの死活監視

外形監視（サイトが落ちたことの検知）は対象外です。右記 A のサイト単位の死活監視サービスで承ります。

× アプリのエラー監視

アプリケーション内部のエラー・例外の捕捉は対象外です。右記 B のエラー監視・ログ監視サービスで承ります。

× 障害発生時の復旧対応

本サービスは監視と通知までを担当し、復旧作業そのものは含みません。復旧までお任せの場合は右記 C で承ります。

× OS・ミドルウェア保守

監視対象サーバーのパッチ適用・保守は含みません。右記 C のインフラ構築・運用サービスで承ります。

関連サービスで別途承ります

A Webサイト死活監視

複数拠点からの24時間監視・SSL期限監視・専用ステータスページ・月次稼働率レポート。サイト単位の月額制。

B エラー監視・ログ監視

本番のエラーとログを捕捉し、影響範囲の可視化・通知整備・ノイズ抑制まで。アプリ内部のエラーを追跡したい場合に。

C インフラ構築・運用

OS・ミドルウェアのパッチ適用・保守や、検知後の復旧対応はこちらで承ります。監視と組み合わせて運用全体をカバーできます。

※ A～C とも、本サービスとあわせてのご相談が可能です。「サーバー・サイト・アプリ」の3層をまとめてカバーできます。なお、当社はリモート前提・営業日対応のため、夜間・休日のオンコール代行はお引き受けしておりません。



「自分で契約」「サーバー付帯の簡易監視」と違い、定着する形で運用に乗せます

よくある2つの選択肢と、シャノンのリソース監視の違いを、3つの流れで整理しました。

監視ツールを自分で契約

- × 選定・設定・運用まで自前。課金・解約の管理も手間
- × 英語画面が社内に浸透せず、定着しない
- × 通知が来ても誰も見ておらず、放置される
- × ダッシュボードの整備まで手が回らない
- × 導入した担当者しか見ない・触れない状態になる

※ 導入しても「見る人がいない」状態になりがちです。

サーバー付帯の簡易監視

- × 取得できる項目が限定的で、通知ルートも貧弱
- × 見やすい日本語画面がなく、状況を一目でつかめない
- × 稼働レポートがなく、報告に使えない
- × サーバーの役割に合わせた閾値設計ができない
- × 「サーバーは大丈夫？」に数字で答えられない

※ 「数字で答える」ための材料が残りません。

SHANNON | 設定・運用までまるごと

- ✓ CPU・メモリ・ディスク・通信をまとめて監視し、傾向を数字で把握できる
- ✓ 閾値・通知設計はサーバーの役割に合わせて代行し、通知の放置を防ぐ
- ✓ 日本語ダッシュボード・月次レポートで報告まで使える
- ✓ 1台あたり月額で、Linux / Windows・クラウド・レンタルサーバーに対応

※ リモート前提・営業日対応で運用します。

出典：当社サービスページ「サーバーリソース監視」(<https://shannon.co.jp>) の比較整理より

監視は「見続けられる仕組み」であることが重要です。次ページで、運用開始までの流れをご説明します。

通知が実際に届くことを確認してから、運用を開始します

お申込みから運用開始まで、お客様にご用意いただくのは監視したいサーバーと通知先だけです。

01



無料相談・お申込み

監視したいサーバーと通知先（メール・Slack）を伺います。台数・構成に合わせたプランの組み合わせもご提案します。

02



監視設定

各サーバーにリモートで監視を設定し、通知ルートと閾値を整備します。閾値はサーバーの役割に合わせて設計します。

03



通知テスト

検知から通知が実際に届くことを確認してから運用を開始します。

04



運用・月次レポート

日本語ダッシュボードで状況を共有し、毎月の稼働レポートをお届けします。リソースの傾向を数字で残せます。

お申込み → 通知テスト → 運用開始（以後は毎月レポートをお届け）

※ 台数・構成の変更、監視項目の追加は運用開始後にご相談いただけます。

既存監視ツールからの移行にも対応。現在の監視項目・通知設定を引き継ぎながら、無理のない形で移行します。

対象サーバーから乗り換えまで

よくあるご質問にお答えします

ご相談の多い質問と、シャノンの回答をまとめました。導入前の疑問解消にお使いください。

	よくあるご質問	シャノンの回答
対象	どんなサーバーを監視できますか？	クラウド・レンタルサーバー・自社サーバーを問わず、監視を導入できる Linux / Windows サーバーが対象です。台数や構成に合わせて設定し、リモートで運用します。
範囲	Web サイトの死活監視やアプリのエラー監視もお願いできますか？	本サービスはサーバーリソースの監視に特化しています。死活監視（外形監視）とエラー監視はそれぞれ別サービスで承ります。あわせてのご相談も可能です。
	障害が起きたとき、復旧対応もしてもらえますか？	本サービスは監視と通知までを担当し、復旧対応や OS・ミドルウェアの保守は含みません。リモート前提・営業日対応のため、夜間・休日のオンコール代行もお引き受けしておりません。
移行	今使っている監視ツールから乗り換えられますか？	移行支援をご用意しています。現在の監視項目・通知設定を引き継ぎながら、無理のない形で移行します。

出典：当社サービスページ「サーバーリソース監視」(<https://shannon.co.jp>) よくあるご質問より

ここに無いご質問も、無料相談でお答えします。台数・構成・現在の運用体制をお聞かせいただければ、最適なプランの組み合わせをご提案します。



会社概要

社名 シャノン合同会社（SHANNON LIMITED LIABILITY COMPANY）

代表者 三浦 昌大（Masahiro Miura）

設立 2026年4月 （決算月：3月）

拠点 東京都豊島区池袋2丁目17-8 / 千葉県柏市若柴178-4 / 北海道札幌市中央区北二条東3丁目2番2号マルタビル8階

資本金 9,900,000円

事業内容 プロダクト開発・運営 / インフラ構築・運用 / エンジニアリングエージェンシー

パートナー Xserverビジネスパートナー / Microsoft Cloud Partner Program

取引銀行 三菱UFJ銀行 柏支店

電話 050-1794-9651 （自動音声でお受けし、営業日に折り返しご連絡します）

連絡先 contact@shannon.co.jp / <https://shannon.co.jp>

E.O.F

